

ワークショップの実施について

1. 市民ワークショップの目的

○第3次枚方市環境基本計画の策定にあたり、10年、20年、30年後の望ましい環境の姿を描くために、将来を担う高校生から意見を吸い上げ、「望ましい環境像」や「基本目標」、「重点的な取り組み」などを検討する際の参考とする。また、意見のとりまとめ役を大学生に担ってもらうことで、若年層による活発な議論に繋げ、環境保全を担う人材を育てる。さらに、市民アンケートは18歳以上を対象とするため、ワークショップはその補完的な役割を担うものである。

2. 市民ワークショップの基本的事項

- ①実施時期・・・・・・・・令和元年9月頃
- ②参加者・・・・・・・・市内の高校生30名程度（市内の高校1～2校に枚方市から個別に参加要請）
- ③実施回数・・・・・・・・1回を想定
- ④コーディネーター・・・・コンサル等

※参加いただく高校生の各グループには、大学生がリーダーとして参加いただき、グループの取りまとめ役を担ってもらう。（温暖化対策実行計画のH25策定時と同様の手法を想定。）

3. プログラム（素案）

- | | |
|---|---|
| 1 | 枚方市の環境の取り組み、第2次枚方市環境基本計画についての概要説明 |
| 2 | 意見交換（1）
テーマ「10年後、20年後、30年後の枚方、望ましい環境の姿について」

(テーブルの移動) |
| 3 | 発表 |
| 4 | 意見交換（2）
テーマ「望ましい環境をめざして、わたしたちにできること」
※数グループに分かれ、それぞれ個別に意見交換
グループ討論の際には、現状の制約にとらわれない姿勢や考え方、創意工夫をしてもらい、意見の吸い上げだけでなく、環境保全を担う人材を育てる環境教育であることも意識する。 |
| 5 | 発表 |
| 6 | 講評 |